

## NATIVE + TOEFL コースを受けてみて

### ■1日のカリキュラム：

フィリピン人講師マンツーマン授業 4 コマ (全て TOEFL)

フィリピン人講師グループ授業 1 コマ ←こちらのみ一般英語のリスニング

欧米ネイティブ講師マンツーマン授業 2 コマ (全て TOEFL)

### ■モックテストと講師から TOEFL 試験の形式を説明：

コースの初日にまずモックテストを 2 時間受けます。

次にコース担当の講師から TOEFL 試験の形式が次のように説明されました。

合計テスト時間：2 時間/休憩なし

・リーディング[3 5 分]：2 パッセージ×10 問 = 2 0 問

語彙問題 語句の意味を問う問題

代名詞 指示語が何を指しているのかを問う問題

文章挿入問題 指定された箇所に文章を挿入する問題

段落要約問題 パッセージの要約として正しい解答を選択する問題

文章言い換え問題 言い換えされた正しい解答を選択する問題

内容一致問題 パッセージの内容と一致するものを選択する問題

内容不一致問題 パッセージの内容と一致しないものを選択する問題

推測問題 本文から推測できることを選択する問題

意図問題 筆者の意図を読み取る問題

表の穴埋め問題 表に当てはめる選択肢を選ぶ問題

・リスニング[3 6 分]：会話形式問題 2 つ + 講義形式問題 3 つ / 計 2 8 問

選択問題

並び替え問題

Yes か No を答える問題

・スピーキング[1 6 分]：4 タスク

タスク 1 何かのお題に対して自分の意見を言う

タスク 1, 2, 3 お題の指示に従った意見を言う

・ライティング[2 9 分]：2 タスク

タスク 1 [2 0 分]：何かのお題に対して自分の意見を書く

タスク 2 [1 0 分]：お題の指示に従った自分の意見を書く [アカデミックなお題]

## ■授業内容：

### リーディング

テキストを使用して問題のタイプ毎に勉強します。語彙問題や代名詞問題などです。サンプル問題を解いて、形式を把握します。そして通常のテキストと同じように問題を解いてから先生と答え合わせをします。その後、なぜその答えになるのかをディスカッションします。

語彙問題の形式などはパッセージを読んだ後、その中に出てきたあまり親しみのない難しい語彙が選択肢のどの語彙と同じ意味になるかを選択します。代名詞問題はパッセージの中に出てきた代名詞がどの内容を指しているかを選択します。

### リスニング

テキストを使用して会話形式の問題と講義形式[教授などが一人で話すような形式]の二種類を勉強します。最初にサンプル問題を解き、形式を把握します。その後、通常の先生と一緒に問題を進めていきます。会話形式は二人の話者が話した内容に沿った回答を選択肢から選びます。講義形式も話者の内容から回答を選びます。他のテスト[TOEIC など]と形式は特に変わらないと思います。

### スピーキング[16分]：4タスク

全タスクに関する前提として、練習後先生からどのようにしたらいいかのアドバイスをもらいます。アドバイス項目としては「完成度」「明確さ」「文法、語彙」などです。

Task1：何かのお題に対して自分の意見を言う。質問で自分の好みや個人的な情報を問われます。それに対して話します。準備時間は15秒、話すのが45秒です。

Task2,3,4：お題の指示に従った意見を言う。問題を読み聞きした内容を要約して話します。準備時間はそれぞれ30秒、話す時間がそれぞれ60秒です。

### ライティング

ライティングは2種類の形式に分かれます。Integrated Task、Academic discussion Taskです。両方とも回答後、先生が添削します。Integrated Task[20分]は問題が提示した事柄をまとめるタスクです。まず短い文[200文字程度]を読みます。その後、その短い文と関連した題材のリスニングを聞きます。リーディングとリスニングから得た情報から、問題が何について語っているのかを読み取り、それをまとめます。文字数は300語以上を書きます。このライティングタスクに自分の意見など入れてはいけません。

### Academic discussion Task[10分]

教授の質問や、それに対する生徒の回答などを読んだ後、自分の意見を書きます。文字数は100語以上を書きます。